

# 真野の子ども

2021. 6. 29 発行

## 真野小 子どものやくそく



真野小学校には、「真野小 子どものやくそく」があります。これは、真野小学校に通う子どもたちみんなが気持ちよく生活を送るために作られています。4月はしっかりと守れていた子どもたちも、6月は少し気のゆるみがあったのか、守れていない様子が見られました。

中でも、学習に必要なものを持ってこず、トラブルにつながることもあります。赤以外のカラーペン、おもちゃの消しゴムやねりけし、メモやふせんなどは、子どもたちにとってはとても魅力的な物です。

しかし、本当に学習に使うために最適な物でしょうか。学習よりも文房具に意識がいき、集中できないことや、友だちと見せ合いをしたり、交換をしたり、中には欲しそうにしていたりする様子もみられます。

学校では、この約束が守れているか、学習に必要なものは持ってきていないかを子どもたちと再確認していきます。ご家庭でも、今一度お子さんの持ち物を見ていただき、学習に最適な道具かどうか、また記名があるかどうかこの機会にご確認ください。

## 帽子をかぶりましょう

今年も大変暑い日が続いています。そんな中、朝の登校時や休み時間に帽子をかぶっていない児童の姿が多く見られます。学校では外で活動する際には帽子をかぶるよう子どもに話をしています。熱中症対策としてももちろんですが、小学生の黄色の帽子は、交通安全のために大変有効な物です。

**交通安全と熱中症対策**、両方の面より、必ず学校へかぶって登校するよう、各ご家庭でもお声かけください。よろしく願います。

### 真野小 子どものやくそく

校内生活のきまり

- 登下校について
  - 集団登校をする。
  - 標準服を着て登校する。名札は学校にいる時だけつける。
  - 忘れ物をして、取りに帰らない。
  - 決められた通学路を通る。
- 学習や持ち物について
  - 学習に必要なものを持ってこない。
  - ノートやプリントには、えんぴつを使用する。
- 体育について
  - 体操服、赤白帽を忘れたら、体育は見学する。
  - 体育館へ行く時は、体育館シューズを持っていく。  
(ただし、全校で行く時は、教室で はきかえていく。)
- 休み時間や教室移動について
  - 職員室前廊下は、必要以外は通らない。
  - 廊下・階段は、右側通行で歩く。
  - 窓から身を乗り出したり、観音台の上に乗ったりしない。
  - 駐車場では遊ばない。給食車の入り口を通らない。
  - 日本庭園には入らない。
  - 中庭のなわとびゾーン以外には入らない。
- その他
  - クラスの仲間を呼ぶときには、「～さん」と言う。
  - 職員室に用事が、「失礼します。〇年〇組〇〇です。〇〇先生はいらっしゃいますか・・・失礼しました。」とはっきり言う。